

### 3 事業報告書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

#### (1) 令和4年度 事業総括

##### ア 引受(加入)関係

###### (ア) 引受の概要

###### a 農作物共済

【水稻】引受戸数は3,752戸減の18,265戸(前年比83.0%)、引受面積は222,619.9a減の995,407.9a(前年比81.7%)となった。  
令和4年産作付面積は18,000haで、前年産18,600haより600haの減少(対前年比96.8%)となり、作付面積に対して55.3%の引受率となった(12月23日農林水産省九州農政局公表)。

【麦】引受戸数は2戸減の16戸(前年比88.9%)、引受面積225.1a減の9,897.8a(前年比97.8%)となった。

###### b 家畜共済

【死亡廃用共済】県合計で引受頭数は対計画103.1%、共済金額は対計画104.2%となった。  
引受頭数は総数で560,039頭(100.1%)、共済目的等ごとの引受頭数は、搾乳牛10,144頭(91.3%)、育成乳牛5,017頭(97.6%)、繁殖用雌牛109,264頭(102.6%)、育成・肥育牛348,178頭(100.9%)、繁殖用雌馬1頭、肉用種雄牛82頭(105.1%)、種豚2,509頭(103.8%)、肉豚84,844頭(95.1%)であった。引受共済金額は総額で約1,510億3,959万円(99.9%)、共済目的等ごとの共済金額は、搾乳牛21億1,335万円(90.9%)、育成乳牛10億3,053万円(96.0%)、繁殖用雌牛378億479万円(104.8%)、育成・肥育牛1,091億3,638万円(98.7%)、繁殖用雌馬80万円、肉用種雄牛4,840万円(96.6%)、種豚8,468万円(85.2%)、肉豚8億2,065万円(82.0%)であった。  
※( )は前年比

【疾病傷害共済】県合計で引受頭数は対計画105.5%、共済金額は対計画101.3%となった。  
引受頭数は総数で296,530頭(100.4%)、共済目的等ごとの引受頭数は、乳用牛10,365頭(98.1%)、肉用牛285,918頭(100.5%)、一般馬1頭、肉用種雄牛92頭(104.5%)、種豚154頭(61.4%)であった。引受共済金額は総額で約47億4,596万円(100.1%)、共済目的等ごとの共済金額は、乳用牛2億2,109万円(93.7%)、肉用牛45億2,033万円(100.4%)、一般馬2万円、肉用種雄牛384万円(102.2%)、種豚68万円(45.3%)であった。  
※( )は前年比

###### c 果樹共済

【うんしゅうみかん】引受戸数は4戸減の20戸(前年比83.3%)、引受面積は0.7ha減の5.2ha(前年比87.5%)となった。

【指定かんきつ】引受戸数は12戸減の31戸(前年比72.1%)、引受面積は3.9ha減の11.8ha(前年比75.0%)となった。

【すもも】引受戸数は4戸減の16戸（前年比80.0%）、引受面積は1.2ha減の3.9ha（前年比76.2%）となった。

※主な減少要因は、果樹農家の高齢化による離農および収入保険への移行など。

#### d 畑作物共済

【ばれいしょ】収入保険への移行、離農により、引受戸数は9戸減の64戸（前年比87.7%）、引受面積は2.6ha減の18.5ha（前年比87.8%）となった。

【大豆】収入保険への移行、離農により、引受戸数は3戸減の30戸（前年比90.9%）、引受面積は8.8ha減の110.3ha（前年比92.6%）となった。

【さとうきび】収入保険への移行、離農により、引受戸数は229戸減の2,846戸（前年比92.6%）、引受面積は239.0ha減の4,036.6ha（前年比94.4%）となった。

#### e 園芸施設共済

引受戸数（実戸数）は2,911戸（前年比+60戸、102.1%）、引受棟数8,574棟（前年比+139棟、101.6%）、引受面積461ha（前年比+9ha、102.0%）、共済金額233億5,287万円（前年比19億9,605万円、109.3%）となった。共済金額の内訳では施設内農作物及び撤去費用に減少したものの、他は増加傾向にあり、特定園芸施設が復旧費用を含む共済金額で10億4,668万円増加したほか、附帯施設は復旧費用を含む共済金額で7億4,857万円増加、令和2年9月から新設された付保割合追加特約についても2億2,166万円共済金額が増加した。

#### f 建物共済

引受棟数は73,677棟で前年対比95.5%、共済金額は7,230億円で前年対比95.6%と前年度を下回った。また、事業計画7,391億円に対しても160億円減（97.8%）となった。減少の要因は、加入者の高齢化による離農や空き家の増加で引受対象農家が減少したこと、また、加入資格の喪失で未継続物件が増加したため。支所別では、共済金額はすべての支所で前年度を下回った。特に、南薩が78億円、中部が76億円の減少となった。特約付帯契約では、臨時費用担保特約又は小損害実損填補特約付きの引受が全体の26.3%となった。

#### g 農機具共済

引受延台数14,172台（前年比 +166台 101.2%）、共済金額365億4,538万円（前年比 +18億5,099万円 105.3%）となり、目標台数の13,945台に対して 101.6%、目標共済金額338億9,700万円に対しては、107.8%の達成率であった。なお、台数では5支所、共済金額では7支所が前年実績を上回った。機種別の引受台数は、本機は乗用トラクターが5,281台で最多であり、以下、自脱型コンバイン842台、乗用田植機634台等となった。アタッチメントはロータリーが2,618台で最多となり、以下、ロールベアラー398台、ハロー303台等であった。臨時費用担保特約付きの引受は、2,243台となり前年より150台増加し、全引受に占める割合は15.8%であった。

#### h 保管中農産物補償共済

令和2年度9月より共済事業が開始され、3年目（令和4年度）の引受戸数は0戸となった。

## 【引受実績表】

共 済 目 的 等			引 受 (加 入) 数 量			共 済 金 額		
			①令和4年度	②令和3年度	前年比 ①/②	①令和4年度	②令和3年度	前年比 ①/②
農作物共済	水 稲	一筆方式		1,147,381.0 a	0.0%		7,674,929,022円	0.0%
		半相殺方式	894,720.7 a	70,076.3 a	1276.8%	6,967,176,668円	505,479,158円	1378.3%
		全相殺方式	71,363.2 a			540,195,402円		
		品質方式						
		地域インデックス方式	29,324.0 a	570.5 a	5140.1%	278,596,806円	5,266,504円	5290.0%
	計	995,407.9 a	1,218,027.8 a	81.7%	7,785,968,876円	8,185,674,684円	95.1%	
	陸 稲	一筆方式						
		半相殺方式						
		全相殺方式						
		地域インデックス方式						
	計	0.0 a	0.0 a	0.0%	0円	0円	0.0%	
	麦	半相殺方式	6,455.3 a	4,912.5 a	131.4%	1,770,852円	1,308,797円	135.3%
		全相殺方式	715.8 a	598.4 a	119.6%	158,736円	131,818円	120.4%
		災害収入共済方式	2,726.7 a	4,612.0 a	59.1%	2,032,058円	2,426,340円	83.7%
		地域インデックス方式						
計	9,897.8 a	10,122.9 a	97.8%	3,961,646円	3,866,955円	102.4%		
計	1,005,305.7 a	1,228,150.7 a	81.9%	7,789,930,522円	8,189,541,639円	95.1%		
家畜共済	死亡廃用	搾乳牛	10,144 頭	11,112 頭	91.3%	2,113,350,080円	2,325,802,490円	90.9%
		繁殖用雌牛	109,264 頭	106,512 頭	102.6%	37,804,794,449円	36,086,313,699円	104.8%
		育成乳牛 (子牛等)	5,017 頭	5,142 頭	97.6%	1,030,531,860円	1,073,393,950円	96.0%
		育成・肥育牛 (子牛等)	348,178 頭	344,956 頭	100.9%	109,136,376,735円	110,596,581,645円	98.7%
		繁殖用雌馬	1 頭	1 頭	100.0%	800,000円	800,000円	100.0%
		育成・肥育馬	0 頭	1 頭	0.0%	0円	1,154,400円	0.0%
		種 豚	2,509 頭	2,416 頭	103.8%	84,676,950円	99,339,510円	85.2%
		肉 豚	84,844 頭	89,169 頭	95.1%	820,652,800円	1,001,223,000円	82.0%
		種 雄 牛	82 頭	78 頭	105.1%	48,402,280円	50,116,160円	96.6%
		種 雄 馬						
		計	560,039 頭	559,387 頭	100.1%	151,039,585,154円	151,234,724,854円	99.9%

共 済 目 的 等			引 受 (加 入) 数 量			共 済 金 額		
			①令和4年度	②令和3年度	前年比 ①/②	①令和4年度	②令和3年度	前年比 ①/②
家畜共済	疾病傷害	乳用牛	10,365頭	10,561頭	98.1%	221,090,984円	235,917,119円	93.7%
		肉用牛	285,918頭	284,371頭	100.5%	4,520,326,448円	4,502,029,760円	100.4%
		一般馬	1頭	2頭	50.0%	21,600円	43,200円	50.0%
		種豚	154頭	251頭	61.4%	680,835円	1,503,990円	45.3%
		種雄牛	92頭	88頭	104.5%	3,841,506円	3,758,495円	102.2%
		種雄馬						
		計	296,530頭	295,273頭	100.4%	4,745,961,373円	4,743,252,564円	100.1%
計			856,569頭	854,660頭	100.2%	155,785,546,527円	155,977,977,418円	99.9%
果樹共済	うんしゅうみかん	半相殺減収総合一般方	521.5 a	596.1 a	87.5%	5,304,000円	5,790,000円	91.6%
		全相殺減収方式						
		全相殺品質方式						
		災害収入共済方式						
		地域インデックス方式						
		計	521.5 a	596.1 a	87.5%	5,304,000円	5,790,000円	91.6%
	指定かんきつ	半相殺減収総合一般方	1,181.6 a	1,574.5 a	75.0%	13,330,000円	17,478,000円	76.3%
		全相殺減収方式						
		全相殺品質方式						
		災害収入共済方式						
		計	1,181.6 a	1,574.5 a	75.0%	13,330,000円	17,478,000円	76.3%
	すもも	半相殺減収総合一般方						
		全相殺減収方式	388.0 a	509.0 a	76.2%	1,608,000円	2,335,000円	68.9%
		全相殺品質方式						
		災害収入共済方式						
地域インデックス方式								
計	388.0 a	509.0 a	76.2%	1,608,000円	2,335,000円	68.9%		
計			2,091.1 a	2,679.6 a	78.0%	20,242,000円	25,603,000円	79.1%

共 済 目 的 等			引 受 (加 入) 数 量			共 済 金 額		
			①令和4年度	②令和3年度	前年比 ①/②	①令和4年度	②令和3年度	前年比 ①/②
畑作物共済	ばれいしょ	全相殺方式	1,850.9 a	2,108.5 a	87.8%	43,796,708円	48,626,552円	90.1%
		地域インデックス方式						
		計	1,850.9 a	2,108.5 a	87.8%	43,796,708円	48,626,552円	90.1%
	大豆	半相殺方式						
		全相殺方式	11,025.3 a	11,901.8 a	92.6%	14,040,600円	13,348,111円	105.2%
		地域インデックス方式						
	さとうきび	計	11,025.3 a	11,901.8 a	92.6%	14,040,600円	13,348,111円	105.2%
		全相殺方式	403,655.0 a	427,551.5 a	94.4%	3,771,066,114円	3,995,222,948円	94.4%
		地域インデックス方式						
		計	403,655.0 a	427,551.5 a	94.4%	3,771,066,114円	3,995,222,948円	94.4%
	計	416,531.2 a	441,561.8 a	94.3%	3,828,903,422円	4,057,197,611円	94.4%	
園芸施設共済	ガラス室Ⅰ類		14棟	14棟	100.0%	123,289,578円	114,061,351円	108.1%
	ガラス室Ⅱ類							
	プラスチックハウスⅠ類							
	プラスチックハウスⅡ類	2,671棟	2,682棟	99.6%	1,134,040,238円	1,128,292,031円	100.5%	
	プラスチックハウスⅢ類	3,760棟	3,688棟	102.0%	13,398,511,822円	12,132,760,016円	110.4%	
	プラスチックハウスⅣ類甲	210棟	197棟	106.6%	490,141,545円	461,483,533円	106.2%	
	プラスチックハウスⅣ類乙	7棟	7棟	100.0%	36,024,330円	31,366,627円	114.8%	
	プラスチックハウスⅤ類	896棟	859棟	104.3%	6,141,259,179円	5,531,194,115円	111.0%	
プラスチックハウスⅥ類	1,016棟	988棟	102.8%	2,029,601,201円	1,957,663,088円	103.7%		
	プラスチックハウスⅦ類							
	計	8,574棟	8,435棟	101.6%	23,352,867,893円	21,356,820,761円	109.3%	
任意共済	建 物	総 合 共 済	841棟	897棟	93.8%	5,188,890,000円	5,367,190,000円	96.7%
		火 災 共 済	72,836棟	76,278棟	95.5%	717,814,850,000円	750,744,870,000円	95.6%
		計	73,677棟	77,175棟	95.5%	723,003,740,000円	756,112,060,000円	95.6%
	農機具	14,172台	14,006台	101.2%	36,545,380,000円	34,694,390,000円	105.3%	
	保管中農産物補償	0口	5口	0.0%	0円	5,000,000円	0.0%	
	計				759,549,120,000円	790,806,450,000円	96.0%	
合 計						950,326,610,364円	980,413,590,429円	96.9%

受託事業	農 業 経 営 収 入 保 険	加入件数	個人	法人	基準収入金額	補償金額
		2,212件	1,927件	285件	45,787,321,581円	36,938,178,261円

## イ 被害（事故）関係

### （ア）被害（事故）の概要

#### a 農作物共済

【水稻】令和4年5月15日から10月18日にかけて、台風14号等による倒伏・流出埋没等が発生した。令和4年4月1日から11月1日にかけてイノシシによる踏倒し、シカによる食害等が発生した。令和4年5月7日から10月7日にかけて、いもち病等が発生した。また、令和4年4月1日から10月17日にかけて、ウンカによる坪枯れ等も発生した。これらの要因により減収した。1,782戸に1億59万円の共済金を支払い、戸数被害率9.8%、金額被害率1.3%となった。（半相殺方式・地域インデックス方式）  
※全相殺方式の評価は令和5年6月予定。

【麦】令和3年12月16日から29日の降雨により発芽不良となり、減収した。3戸に28,282円の共済金を支払い、戸数被害率15.8%、金額被害率0.7%となった。

#### b 家畜共済

【死廃事故】頭数は総数で33,259頭であり、前年度に比べ+2,152頭（106.9%）となった。共済目的等ごとの死廃頭数は、乳用牛1,191頭、肉用牛12,873頭、肉用種雄牛5頭、種豚94頭、肉豚19,096頭であった。支払共済金は総額で28億4,731万円であり、前年度に比べ1億1,951万円（104.4%）増加した。共済目的等ごとの共済金は、乳用牛1億9,100万円、肉用牛24億7,803万円、肉用種雄牛326万円、種豚343万円、肉豚1億7,159万円であった。

【病傷事故】件数は総数で296,498件であり、前年度に比べ-11,831件（96.2%）となった。共済目的等ごとの病傷件数は、乳用牛14,003件、肉用牛282,459件、肉用種雄牛21件、種豚15件であった。支払共済金は総額で28億3,794万円であり、前年に比べ8,955万円（96.9%）減少した。共済目的等ごとの病傷事故共済金は、乳用牛1億4,072万円、肉用牛26億9,690万円、肉用種雄牛23万円、種豚9万円であった。

#### c 果樹共済

【うんしゅうみかん】令和4年8月上旬から高温で推移し、日焼け果が発生した。その後、まとまった降雨により裂果が発生した。令和4年8月下旬から9月中旬にかけてカメムシの吸汁により、果実の腐敗、落果が見られた。令和4年10月下旬にサルによる食害が発生した。令和4年5月中旬から8月下旬にかけて、そうか病が発生した。これらの原因により減収した。実戸数10戸に41万円の共済金を支払い、戸数被害率41.7%、金額被害率7.1%となった。

【指定かんきつ】調査の結果、支払い対象となる被害はなかった。

【すもも】令和4年5月上旬から6月上旬にかけての断続的な降雨により、黒斑病が発生し、減収した。実戸数3戸に14万円の共済金を支払い、戸数被害率15.0%、金額被害率5.8%となった。

#### d 畑作物共済

【ばれいしょ】令和3年12月下旬から令和4年3月上旬の低温により、圃場によっては寒さが強く、イモの生育が抑制された。令和4年3月下旬から5月上旬にかけて、日照不足によりイモの生育が遅れ生育が抑制された。令和4年2月上旬から3月上旬にかけてサルによる茎葉の引き抜きが発生した。また、令和4年4月下旬から5月中旬にかけて、一部圃場で疫病が発生した。これらの原因により減収した。16戸に135万円の共済金を支払い、戸数被害率21.9%、金額被害率2.8%となった。

【大豆】令和4年9月17日から18日にかけて台風14号が上陸し、暴風雨により倒伏が発生した。令和4年8月中旬から下旬にかけて、シカによる食害が発生した。これらの原因により減収した。12戸に178万円の共済金を支払い、戸数被害率40.0%、金額被害率12.7%となった。

【さとうきび】令和2年9月中旬から令和3年11月中旬にかけてメイチュウの食害による芯枯れ、発芽不能が発生した。南大島では、令和3年5月上旬から7月下旬の日照不足による生育停滞が発生した。大島・南大島では、令和2年8月上旬から令和3年7月下旬に長雨等の滞水による発芽不能、根腐れが発生した。熊毛・南大島では、令和2年8月下旬から令和3年8月上旬にかけて、大雨による土砂流入、低気圧の通過による潮風害、令和3年台風6号・9号の影響による葉部裂傷が発生した。大島・南大島では令和3年3月中旬から令和3年12月下旬にイノシシによる食害及び掘り起こしが発生した。その他に、南大島で干害・火災が発生した。これらの原因により減収した。286戸に2,888万円の共済金を支払い、戸数被害率9.3%、金額被害率0.7%となった。

#### e 園芸施設共済

令和4年度の共済金支払対象は405戸の799棟で、共済金は1億1,344万円（前年対比710.3%）となった。なお、この中には令和3年度中に発生した落雷等の被害により令和4年度に支払うこととなった附帯施設の被害4件（支払共済金287,445円）を含んでいる。令和4年度の主な災害としては、台風による被害が大きく、6号・11号・14号と3つの台風が接近・上陸したが、特に9月の台風14号の襲来による影響が大きく581棟に対し9,879万円の共済金支払となった。これは令和4年度事故全体の87%を占めており昨年度に比較して支払いが大きくなった大きな要因となっている。そのほかでは、年間を通して低気圧の通過等による風害により111棟に対し627万円の共済金を支払ったほか、引受が増加している附帯施設の落雷の被害が29件発生し238万円ほどの共済金支払い、昨年12月・本年1月の寒気団の襲来による積雪等により6棟に対し60万円ほどの共済金の支払いとなった。

#### f 建物共済

支払共済金は2億8,212万円（総合共済1,677万円、火災共済2億6,535万円）となり、前年より1億5,358万円増加した。罹災棟数は、757棟となり、前年より236棟増加した。火災事故については、罹災棟数が23棟で13棟増加し、共済金は1億6,024万円で9,818万円増加した。落雷については、罹災棟数644棟で144棟増加し、共済金は1億169万円、3,663万円増加した。自然災害等については、罹災棟数90棟で79棟増加し、共済金は2,020万円、1,877万円増加した。

**g 農機具共済**

事故台数は570台で前年より39台増加し、支払共済金は1億7,627万円で4,446万円余り増加した。支所別では、南薩が4,030万円（111台）で最多となり、以下、曾於3,752万円（73台）、北薩2,460万円（103台）となった。罹災原因別では、支払台数は稼働中の事故が520台で全体の91.2%を占めており、火災等の事故が42台、自然災害が8台となった。支払額は接触事故が最多で9,098万円（422台）、以下、転覆事故3,915万円（14台）、異物の巻き込み事故2,487万円（82台）等となった。

**h 保管中農産物補償共済**

昨年度に引き続き被害はなかった。



## 【被害（事故）状況】

共 済 目 的 等			被 害（事 故）状 況			支 払 共 済 金		
			令和4年度①	令和3年度②	前年比 ①/②	令和4年度①	令和3年度②	前年比 ①/②
農作物共済	水 稲	一筆方式		36,666.0 a	0.0%		90,526,532円	0.0%
		半相殺方式	71,668.6 a	547.9 a	13080.6%	97,374,288円	1,058,092円	9202.8%
		全相殺方式						
		品質方式						
		地域インデックス方式	1,049.2 a	0.0 a		3,215,936円	0円	
	計	72,717.8 a	37,213.9 a	195.4%	100,590,224円	91,584,624円	109.8%	
	陸 稲	一筆方式						
		半相殺方式						
		全相殺方式						
		地域インデックス方式						
		計	0.0 a	0.0 a	0.0%	0円	0円	0.0%
	麦	一筆方式		25.0 a	0.0%		4,410円	0.0%
		半相殺方式						
		全相殺方式	55.3 a	0.0 a		2,703円	0円	
		災害収入共済方式	2,045.6 a	0.0 a		25,579円	0円	
地域インデックス方式								
計		2,100.9 a	25.0 a	8403.6%	28,282円	4,410円	641.3%	
計			74,818.7 a	37,238.9 a	200.9%	100,618,506円	91,589,034円	109.9%
家畜共済	死亡廃用	搾乳牛	1,045 頭	986 頭	106.0%	178,546,788円	176,359,043円	101.2%
		繁殖用雌牛	2,828 頭	2,488 頭	113.7%	805,418,180円	698,635,124円	115.3%
		育成乳牛 (子牛等)	146 頭 (101 頭)	160 頭 (124 頭)	91.3% 81.5%	12,453,556円	12,743,903円	97.7%
		育成・肥育牛 (子牛等)	10,045 頭 (6,662 頭)	9,544 頭 (6,307 頭)	105.2% 105.6%	1,672,613,276円	1,663,179,512円	100.6%
		繁殖用雌馬						
		育成・肥育馬						
		種 豚	94 頭	79 頭	119.0%	3,429,223円	3,120,157円	109.9%
		肉 豚	19,096 頭	17,849 頭	107.0%	171,586,459円	172,958,534円	99.2%
		種 雄 牛	5 頭	1 頭	500.0%	3,259,200円	803,799円	405.5%
		種 雄 馬						
		計	33,259 頭	31,107 頭	106.9%	2,847,306,682円	2,727,800,072円	104.4%

共 済 目 的 等			被 害 (事 故) 状 況			支 払 共 済 金		
			令和4年度①	令和3年度②	前年比 ①/②	令和4年度①	令和3年度②	前年比 ①/②
家畜共済	疾病傷害	乳用牛	14,003 件	14,869 件	94.2%	140,721,549円	159,424,659円	88.3%
		肉用牛	282,459 件	293,415 件	96.3%	2,696,903,426円	2,767,632,062円	97.4%
		一般馬						
		種 豚	15 件	27 件	55.6%	93,276円	206,910円	45.1%
		種 雄 牛	21 件	18 件	116.7%	226,222円	231,786円	97.6%
		種 雄 馬						
		計	296,498 件	308,329 件	96.2%	2,837,944,473円	2,927,495,417円	96.9%
果樹共済	うんしゅうみかん	半相殺減収総合一般方	249.8 a	46.2 a	540.7%	408,840円	77,320円	528.8%
		全相殺減収方式						
		全相殺品質方式						
		災害収入共済方式						
		地域インデックス方式						
	計	249.8 a	46.2 a	540.7%	408,840円	77,320円	528.8%	
	指定かんきつ	半相殺減収総合一般方	0.0 a	478.1 a	0.0%	0円	874,800円	0.0%
		全相殺減収方式						
		全相殺品質方式						
		災害収入共済方式						
		計	0.0 a	478.1 a	0.0%	0円	874,800円	0.0%
	すもも	半相殺減収総合一般方	114.0 a	177.0 a	64.4%	135,970円	266,370円	51.0%
		全相殺減収方式						
		全相殺品質方式						
		災害収入共済方式						
地域インデックス方式								
計	114.0 a	177.0 a	64.4%	135,970円	266,370円	51.0%		
計	363.8 a	701.3 a	51.9%	544,810円	1,218,490円	44.7%		

共 済 目 的 等			被 害 (事 故) 状 況			支 払 共 済 金		
			令和4年度①	令和3年度②	前年比 ①/②	令和4年度①	令和3年度②	前年比 ①/②
畑作物共済	ばれいしょ	全相殺方式	486.5 a	263.9 a	184.4%	1,348,360円	1,111,731円	121.3%
		地域インデックス方式						
		計	486.5 a	263.9 a	184.4%	1,348,360円	1,111,731円	121.3%
	大豆	半相殺方式						
		全相殺方式	6,160.5 a	5,494.6 a	112.1%	1,776,960円	991,746円	179.2%
		地域インデックス方式						
	さとうきび	計	6,160.5 a	5,494.6 a	112.1%	1,776,960円	991,746円	179.2%
		全相殺方式	25,032.1 a	31,404.7 a	79.7%	28,881,797円	33,010,938円	87.5%
		地域インデックス方式						
	計	25,032.1 a	31,404.7 a	79.7%	28,881,797円	33,010,938円	87.5%	
	計	31,679.1 a	37,163.2 a	85.2%	32,007,117円	35,114,415円	91.2%	
園芸施設共済	ガラス室Ⅰ類							
	ガラス室Ⅱ類							
	プラスチックハウスⅠ類							
	プラスチックハウスⅡ類	137棟	35棟	391.4%	12,061,168円	1,350,920円	892.8%	
	プラスチックハウスⅢ類	383棟	95棟	403.2%	61,834,835円	7,821,164円	790.6%	
	プラスチックハウスⅣ類甲	50棟	22棟	227.3%	2,405,144円	1,335,037円	180.2%	
	プラスチックハウスⅣ類乙							
	プラスチックハウスⅤ類	103棟	25棟	412.0%	22,847,401円	3,655,992円	624.9%	
	プラスチックハウスⅥ類	126棟	37棟	340.5%	14,291,633円	1,807,533円	790.7%	
	プラスチックハウスⅦ類							
	計	799棟	214棟	373.4%	113,440,181円	15,970,646円	710.3%	
任意共済	建 物	総合共済	50棟	4棟	1250.0%	16,765,064円	561,563円	2985.4%
		火災共済	707棟	517棟	136.8%	265,352,660円	127,979,724円	207.3%
		計	757棟	521棟	145.3%	282,117,724円	128,541,287円	219.5%
	農 機 具	570台	531台	107.3%	176,266,570円	131,802,027円	133.7%	
	保管中農産物補償	0口	0口		0円	0円		
	計				458,384,294円	260,343,314円	176.1%	
合 計						6,390,246,063円	6,059,531,388円	105.5%